



MS300-12004 メンバーブレースセット

取付・取扱要領書

この度はTRDメンバーブレースセットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。
- 本商品の取付け作業・部品交換は、必ず専門の整備工場で行ってください。
- 本商品の取付け作業・部品交換は、必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	適合車種	備考
MS300-12004	カローラ '19.9~ カローラツーリング '19.9~	

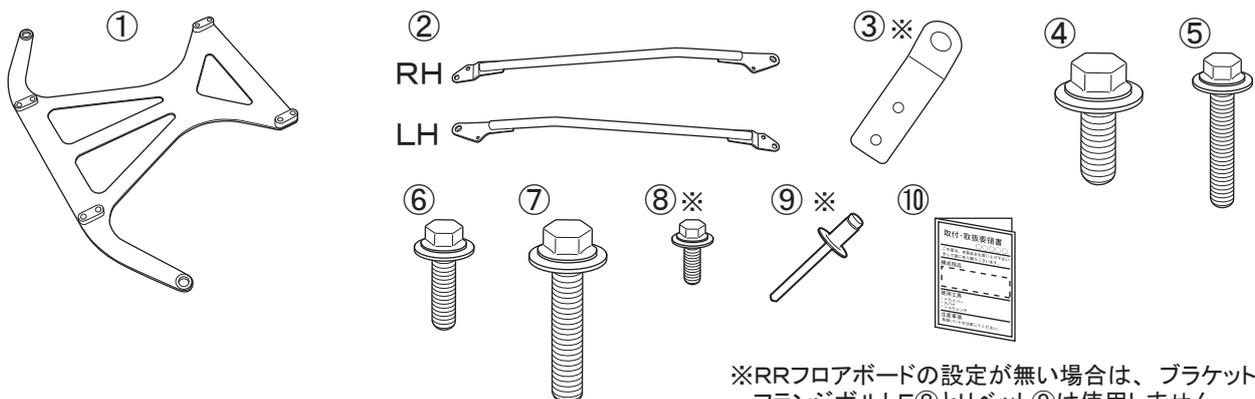
・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

No.	品名	個数	備考
①	フロントクロスメンバー	1	
②	リヤサスペンションメンバーブレース (RH/LH)	各1	
③	ブラケット	2	
④	フランジボルト A	2	M14×1.5 L30 フロントクロスメンバー用
⑤	フランジボルト B	8	M8×1.25 L45 フロントクロスメンバー用
⑥	フランジボルト C	4	M8×1.25 L25 リヤサスペンションメンバーブレース用
⑦	フランジボルト D	2	M12×1.25 L48 リヤサスペンションメンバーブレース用
⑧	フランジボルト E	2	M6×1.0 L14 アンダーカバー用
⑨	リベット	4	
⑩	取付・取扱説明書	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



※RRフロアボードの設定が無い場合は、ブラケット③とフランジボルトE⑧とリベット⑨は使用しません。

取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行っていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。



注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
- ❗ 取付け作業は、必ずエンジンが冷えていることを確認してください。エンジンルーム、マフラーが熱いとヤケドをする恐れがあります。
- ❗ 取付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行なってください。車両が予期せず動き、体を挟むなどの重度な事故の原因となります。
- ❗ 取付け後、本商品と他の部品との干渉を確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
- ❗ 本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合は直ちにご使用を中止してください。取付け部分や本体に変形や破損、故障が生じる場合があります。必ず、整備工場にて点検を受けてください。
- ❗ 本商品取付け後、走行中に異常な振動や異音を感じたら直ちに安全な場所に停車してください。そのまま走行を続けると、重大な事故や破損の原因となる場合があります。整備工場にて点検を受けてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ至急ご連絡をお願いいたします。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1
2. 取付上のご注意（取付作業の方へ） 2
3. 目次、取付に必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 3
4. 取付準備、取付要領 4～11
5. 取付完了後の点検・注意事項 11

■ 取付に必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具・リベッター・トルクレンチ
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・保護メガネ
- ・ エアソー・電動ドリル（刃：2.0mm/4.1mm）
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ

■ 本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

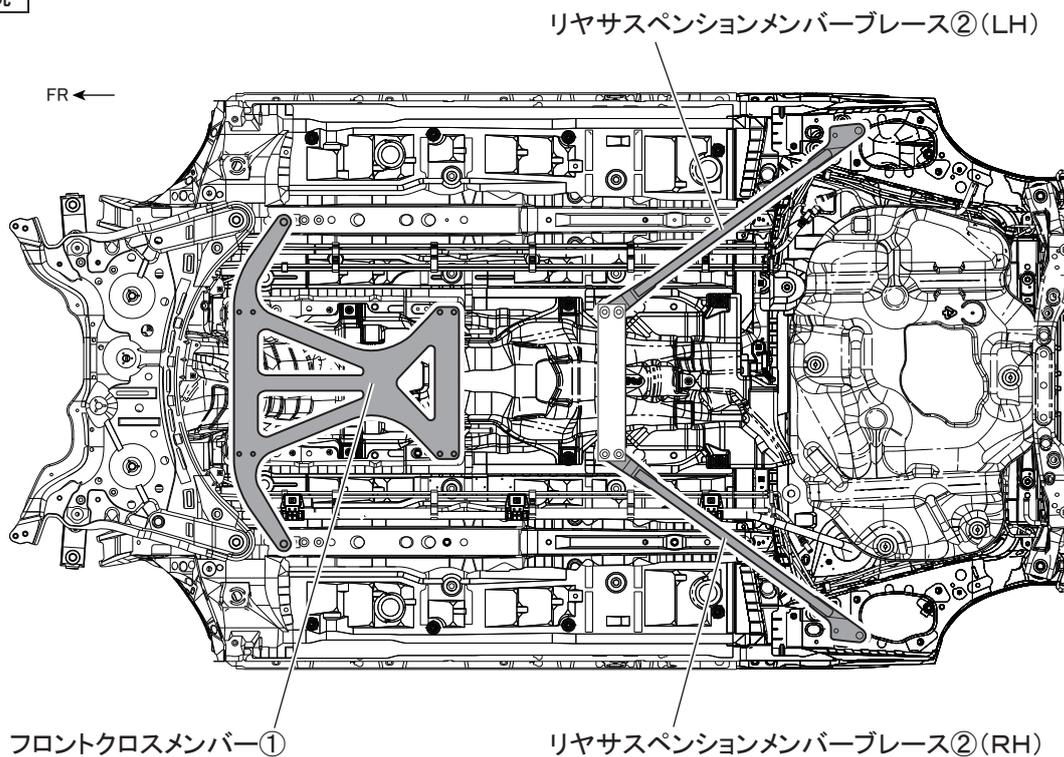
（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

下面視

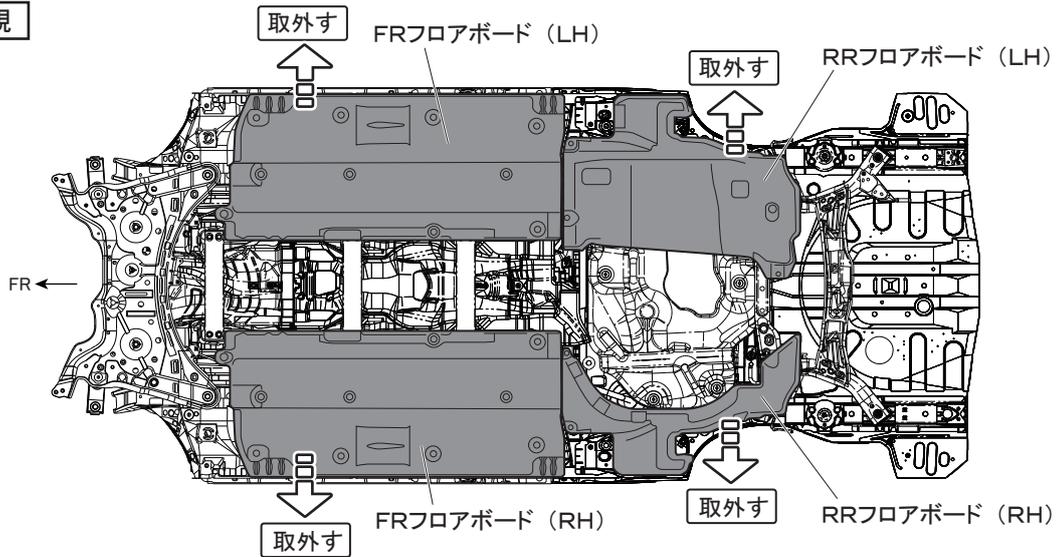


※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□メンバーブレース取付準備

1. 図1のように該当車両の修理書に従い、車両からFR/RRフロアボードを取外す。(4箇所)

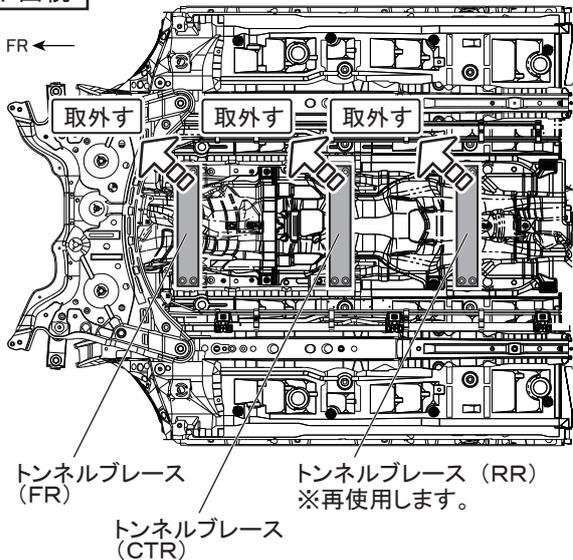
図1 下面視



※FR/RRフロアボード (RH/LH) は車両の仕様により、設定の無い場合があります。

△注意：取外した部品（ボルト、クリップ含む）は、再使用しますので傷つきや紛失がないよう十分に注意して保管してください。

図2 下面視



2. 図2のように該当車両の修理書に従い、車両からトンネルブレース (FR/CTR/RR) 取外す。(3箇所)

△注意：取外した車両トンネルブレース (RR) は再使用しますので傷つきや紛失がないよう十分に注意して保管してください。

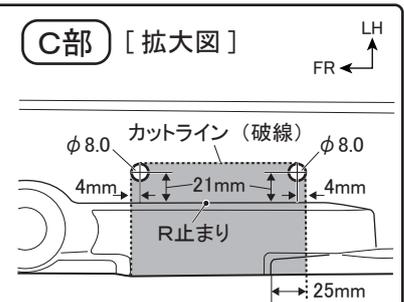
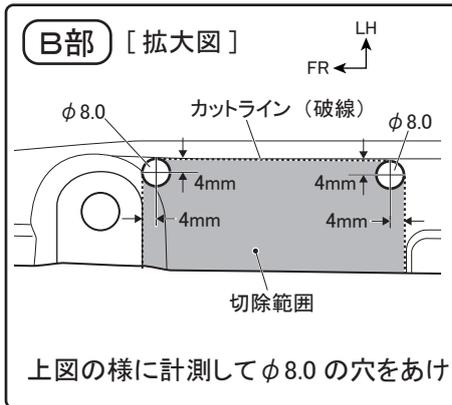
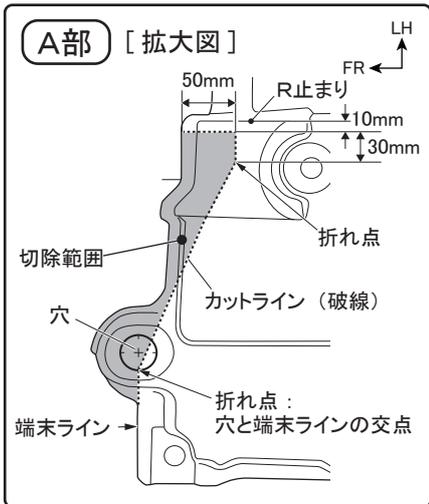
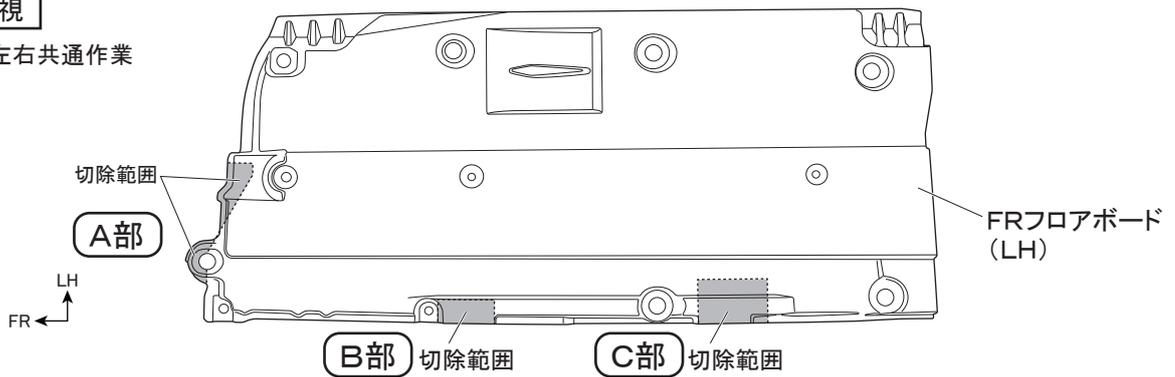
△注意：取外した車両ボルトは、再使用しません。

3. 図3のようにFRフロアボード（RH/LH）の図示A部、B部、C部を切除加工する。

※FRフロアボードの設定の無い車両は、本作業の必要ありません。

図3 下面視

※LH図示 左右共通作業



上図の様に計測してφ8.0の穴をあけ、φ8.0穴外周に沿わせて切除する。

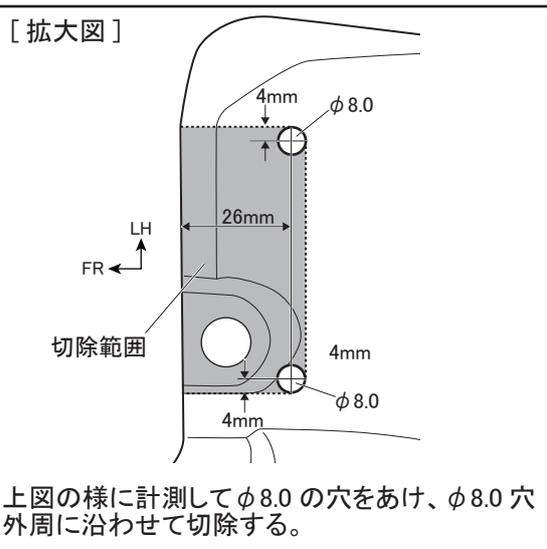
△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

4. 切除部周囲のバリを除去し、エッジを取り除く。

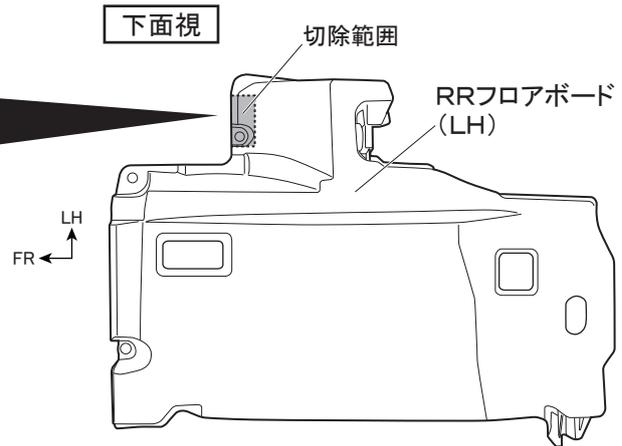
5. 図4のようにRRフロアボード（LH）の図示部を切除加工する。

※RRフロアボードの設定の無い車両は、本作業の必要ありません。

図4



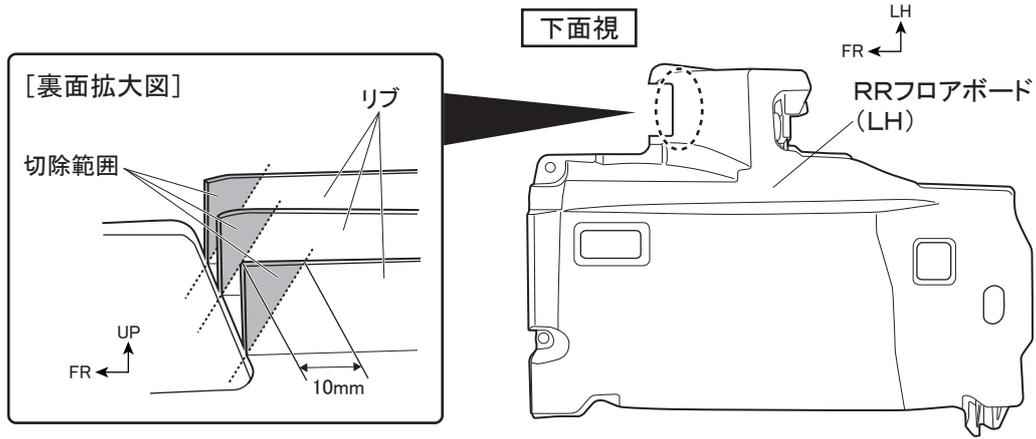
上図の様に計測してφ8.0の穴をあけ、φ8.0穴外周に沿わせて切除する。



△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

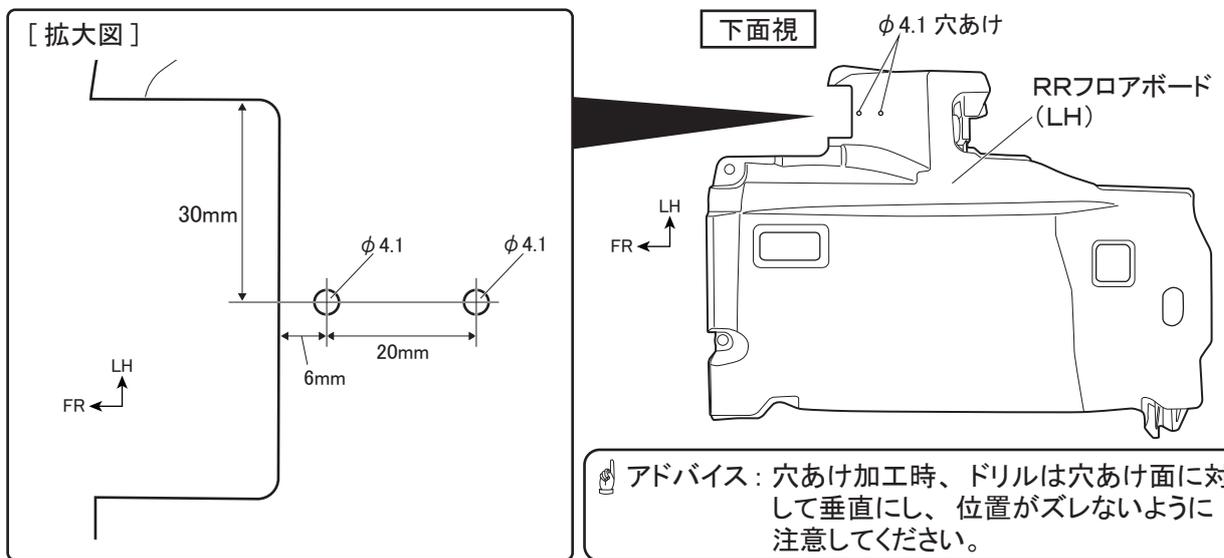
6. 図5のようにRRフロアボード（LH）加工部裏面（車両側）のリブを切除加工する。（3箇所）
 ※RRフロアボードの設定の無い車両は、本作業の必要ありません。

図5



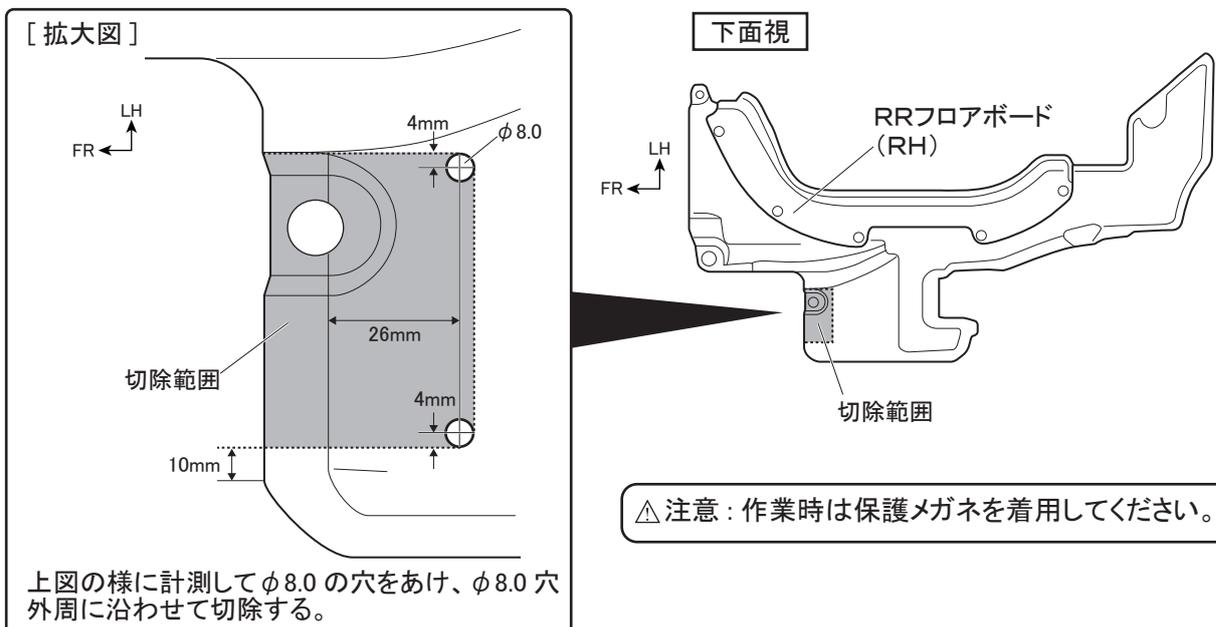
7. 図6のようにRRフロアボード（LH）の図示部に下穴を $\phi 2.0$ であけ、 $\phi 4.1$ の本穴をあける。（左右各2箇所）
 ※RRフロアボードの設定の無い車両は、本作業の必要ありません。

図6



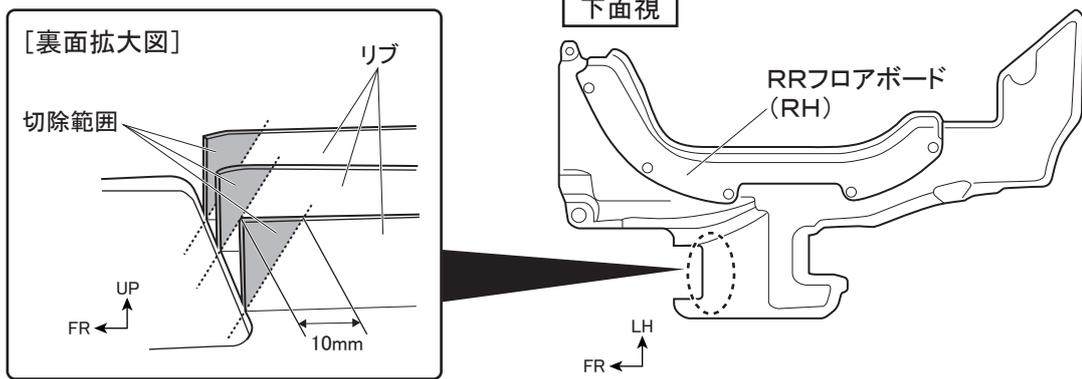
8. 図7のようにRRフロアボード（RH）の図示部を切除加工する。
 ※RRフロアボードの設定の無い車両は、本作業の必要ありません。

図7



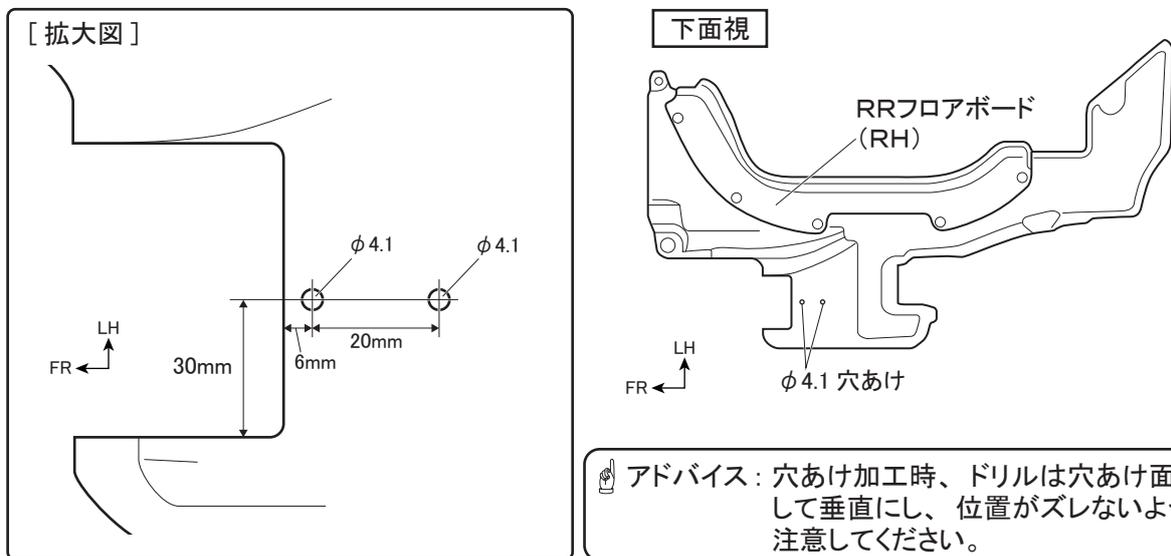
9. 図8のようにRRフロアボード（RH）加工部裏面（車両側）のリップを切除加工する。（3箇所）
 ※RRフロアボードの設定の無い車両は、本作業の必要ありません。

図8



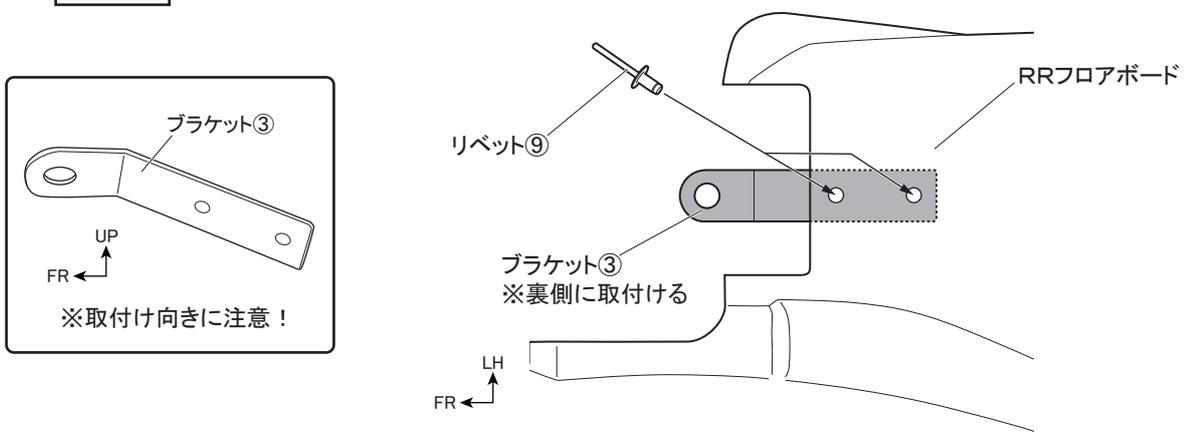
10. 図9のようにRRフロアボード（LH）の図示部に下穴をφ2.0であけ、φ4.1の本穴をあける。（左右各2箇所）
 ※RRフロアボードの設定の無い車両は、本作業の必要ありません。

図9



11. 図10のようにRRフロアボード（RH/LH）のφ4.1加工穴に合わせて裏側（車両側）からブラケット③をあて、表側（下面側）からリベット⑨で固定する。（左右各1箇所）
 ※RRフロアボードの設定の無い車両は、本作業の必要ありません。

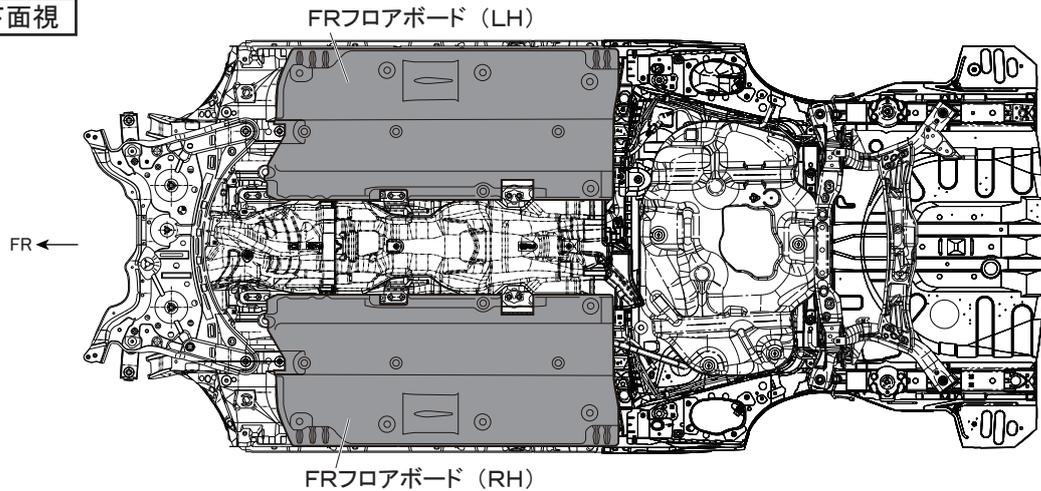
図10 下面視 ※LH図示 左右共通作業



12. 図 11 のように該当車両の修理書に従い、FRフロアボードを車両に復元する。

※FRフロアボードの設定の無い車両は、本作業の必要ありません。

図 11 下面視



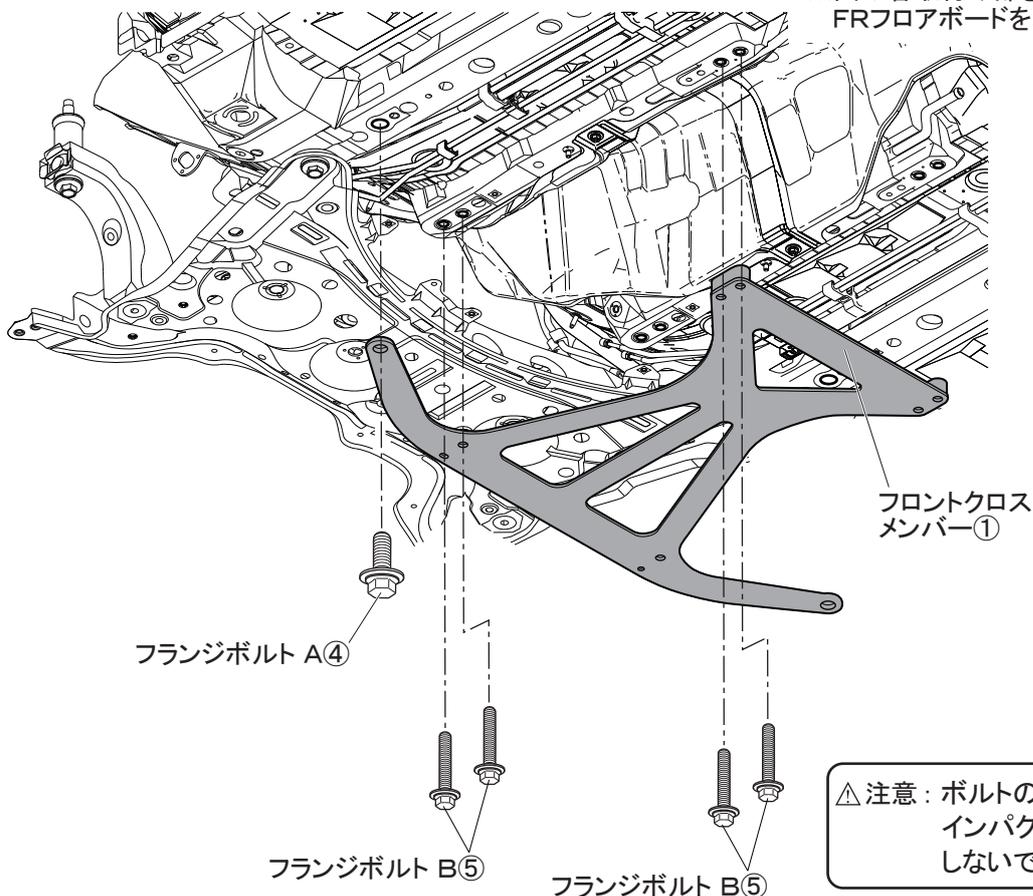
△注意：フロアボードの加工部がブレースと干渉する場合は、加工部を切り増ししてください。

メンバーブレースセット取付作業時は、必ず車両下面の適所にスクリージャッキをあて、作業を行ってください。

□メンバーブレース取付要領

1. 図 12 のように車両下面にフロントクロスメンバー①をあて、フランジボルトA④(2箇所)、フランジボルトB⑤(8箇所)で仮締めする。

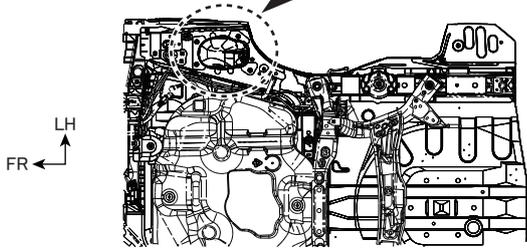
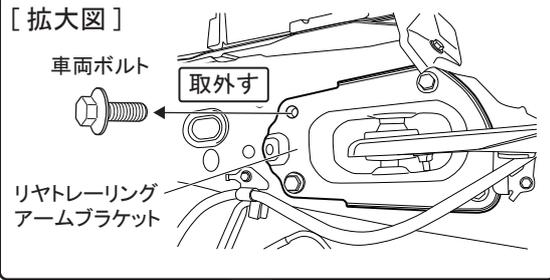
図 12 下面視 ※LH図示 左右共通作業



※図は各取付け部を明確にする為、FRフロアボードを取外しています。

△注意：ボルトの締め付けの際にインパクトレンチは使用しないでください。

図 13 下面視 ※LH図示 左右共通作業

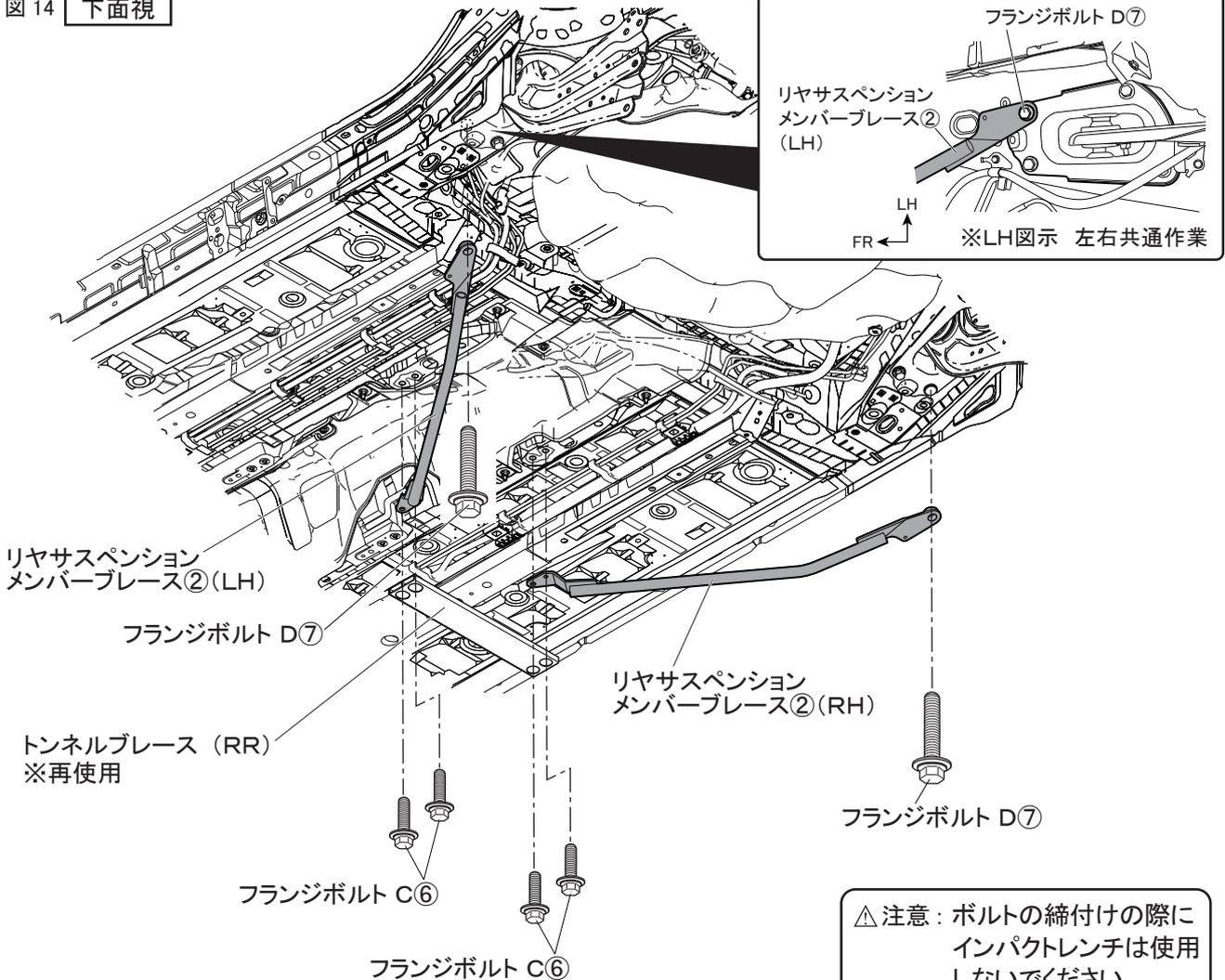


2. 図 13 のように車両下面リヤトレーリングアームブラケットの図示車両ボルトを取外す。
(左右各1箇所)

△注意: 取外した車両ボルトは、再使用しません。

3. 図 14 のように車両下面にリヤサスペンションメンバーブレース②、4ページ作業 2. で取外したトンネルブレース (RR) をあて、フランジボルトC⑥(4箇所)、フランジボルトD⑦で仮締めする。

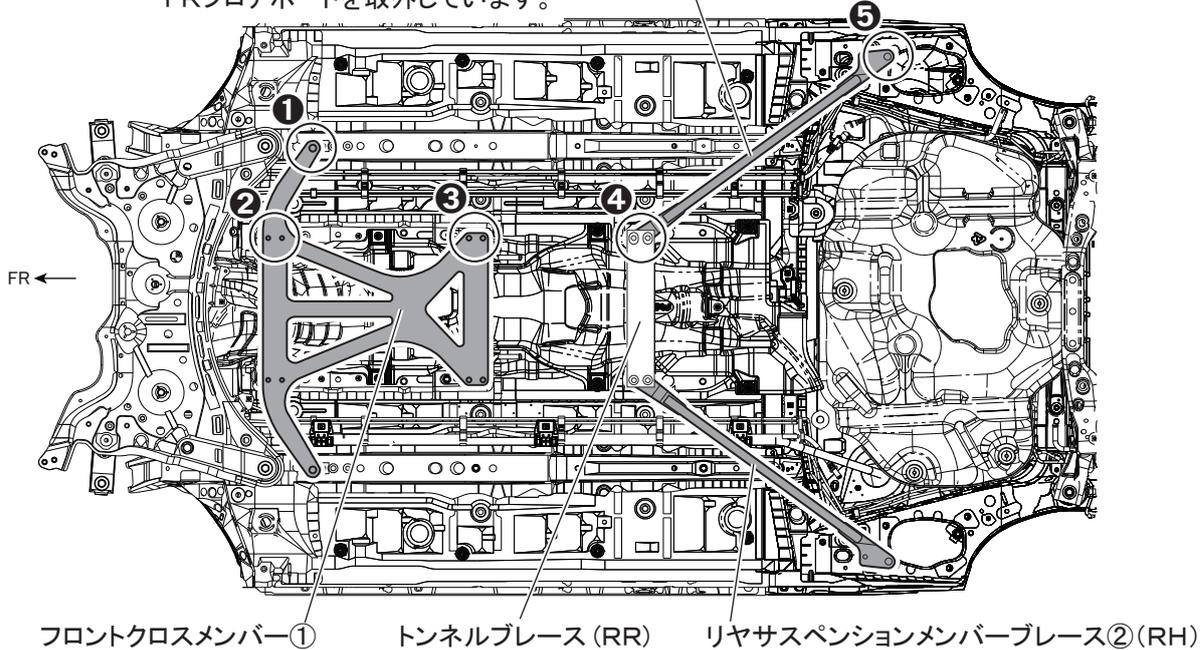
図 14 下面視



△注意: ボルトの締め付けの際にインパクトレンチは使用しないでください。

4. 図 15 のように車両を作業ピットまたは乗り上げ式プレートリフトに移動し、サスペンションに車両の荷重が掛かっている状態（1G 状態）にして各ブレースの仮締めしたボルトを指定トルクで本締めする。

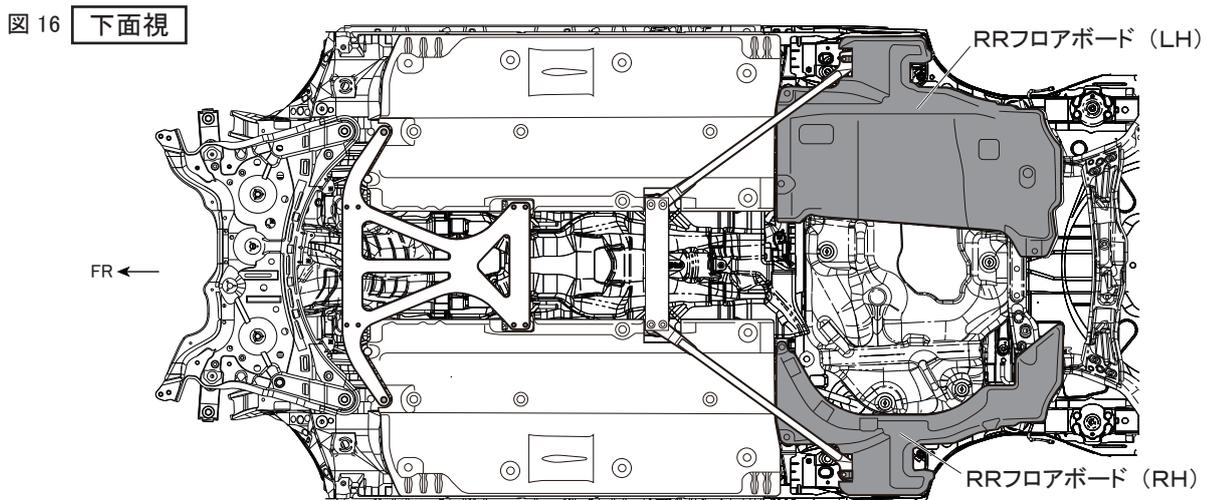
図 15 下面視 ※図は各取付け部を明確にする為、リヤサスペンションメンバーブレース②(LH) FRフロアボードを外しています。



◆締付けトルク一覧表

取付部位	構成部品 No.	締付けトルク	
SECTION① (M14×30 左右各 1箇所)	フランジボルトA④	100.0N・m	<input type="checkbox"/>
SECTION② (M8×45 左右各2箇所)	フランジボルトB⑤	29.0N・m	<input type="checkbox"/>
SECTION③ (M8×45 左右各2箇所)	フランジボルトB⑤	29.0N・m	<input type="checkbox"/>
SECTION④ (M8×25 左右各2箇所)	フランジボルトC⑥	29.0N・m	<input type="checkbox"/>
SECTION⑤ (M12×48 左右各1箇所)	フランジボルトD⑦	90.0N・m	<input type="checkbox"/>

5. 図 16 のように該当車両の修理書に従い、RRフロアボードを車両に復元する。
※RRフロアボードの設定の無い車両は、本作業の必要ありません。

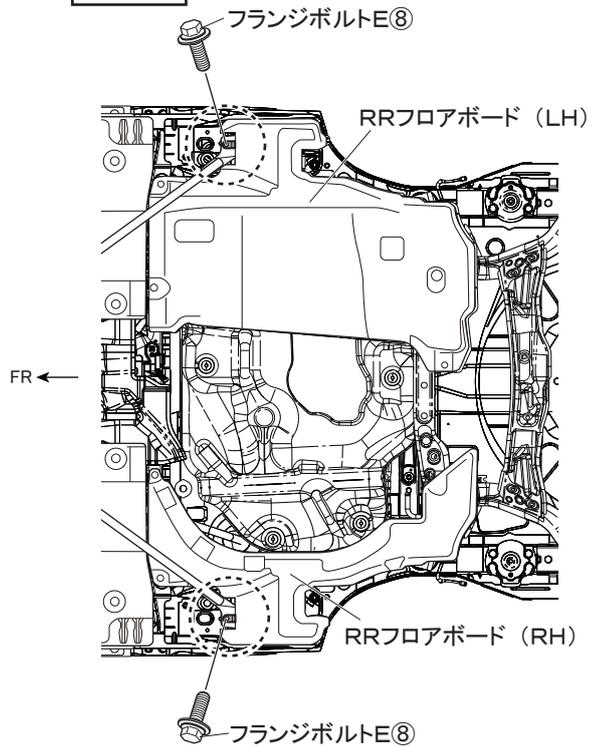


△注意：フロアボードの加工部がブレースと干渉する場合は、加工部を切り増ししてください。

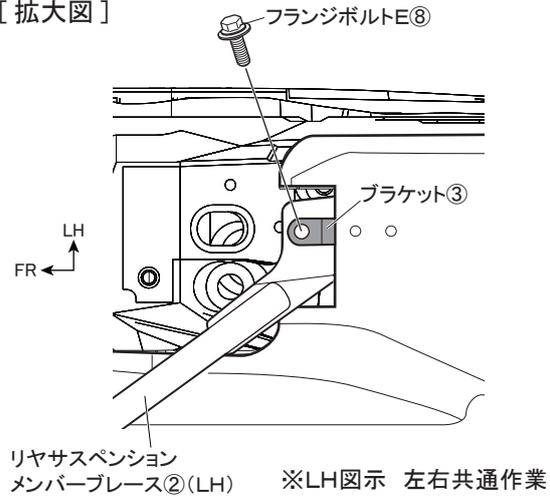
6. 図 17 のようにRRフロアボードに取付けたブラケット③をリヤサスペンションメンバーブレース②後部取付け穴に合わせ、フランジボルトE⑧を使用して指定トルクで取付ける。(左右各1箇所)

※RRフロアボードの設定の無い車両は、本作業の必要ありません。

図 17 下面視



[拡大図]



フランジボルトE⑧
締付けトルク : 7.5N・m

■取付完了後の点検・注意事項

1. 取付け後数キロの走行を行い、各部に干渉が無いこと、異音等がないことを確認してください。
2. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
3. 装着後は、定期的（定期点検時等）に取付け部に緩みなどが無いことを点検してください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
<https://www.trdparts.jp/>